

備前市事務事業評価表

(平成17年度事業)

事務事業名	情報化適応人材育成事業	コード	企画課 情報政策班
		01-01-17-06	担当者 谷本 隆二
事業実施期間	H13~		電話 64-1812
総合計画 事業(政策)体系	大項目	安全で快適に暮らせるまちづくり	
	中項目	生活しやすいまちづくり	
	小項目	情報通信	
	施策	情報化に適応した人材育成	

事業について	
目的	効率的で有意義な情報化を推進するためには、人材育成が不可欠です。市行政の広範囲な分野で、市民の情報活用能力の向上、情報化教育の推進、行政職員の能力向上に努めます。
対象(誰のために)	職員、地区公民館の受講生(市民)
内容	情報化に適応した人材育成は一朝一夕には不可能。このため職員対象のITリーダー講習では、タイムリーなセキュリティ情報や具体的なネットワークトラブルの対処法などを中心に実施している。地区公民館での講習は地区公民館事業への協力と位置づけ、初心者向けのインターネット利用の手引き的な内容で実施している。

事業の結果			
実施項目	17年度		
	回数など(単位)	回数など(単位)	回数など(単位)
ITリーダー等講習	4回		
延参加者数	244人		
職員1人当り参加回数	1回		
地域公民館等講習	1回		
延参加者数	45人		

事業費 (単位:千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	0	国庫補助金等		直接事業費	0	国庫補助金等	
	人件費	1,175	受益者負担		人件費	0	受益者負担	
	市債		市債		市債		市債	
合計	1,175	一般財源等	1,175	合計	0	一般財源等	0	

必要人員	0.15人		
結果指標名	ITリーダー等講習		
結果指標量	4		
単位	回		
対前年比	—	0.00%	
事業費	800,000円		
単位当たりコスト①	200,000円		

結果指標名	地域公民館等講習		
結果指標量	1		
単位	回		
対前年比	—	0.00%	
事業費	375,000円		
単位当たりコスト②	375,000円		

事業の成果			
成果指標名	講習参加者数	式又は説明	各種講習における参加者数
成果指標量	17年度 244人		
対前年比	—	#VALUE!	
到達目標値		到達目標年度	

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性 <input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等:	課題認識
効率性の評価	対象の妥当性 <input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である 市民ニーズの妥当性 <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input checked="" type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である 市の関与の妥当性 <input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input checked="" type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	職員のITスキル・アップのため、必要である。市民向け講習も好評である。
有効性の評価	コストの効率化 <input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である 手段の最適化 <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている 職場の効率化 <input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	外部講師を招かず、職員で対応しており、コスト削減している。
市民参画度	目的達成度 <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input checked="" type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している 成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある <input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている	開催回数の増加が必要。市民対象の講習も増を検討するべきか。

総合評価	ITリーダー等の研修は職員の情報化能力ひいては行政能力の向上にも結びつくため地道に継続していく必要があると考える。 地域公民館等での講習は、行政手法のひとつとして今後ますます活用していくとである インターネットの市民啓蒙のひとつと考えている。	評価区分 <A~E> C
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合
翌年度	結果指標量① 3回	結果指標量② 1回
目標値	成果指標量	成果指標はない

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。